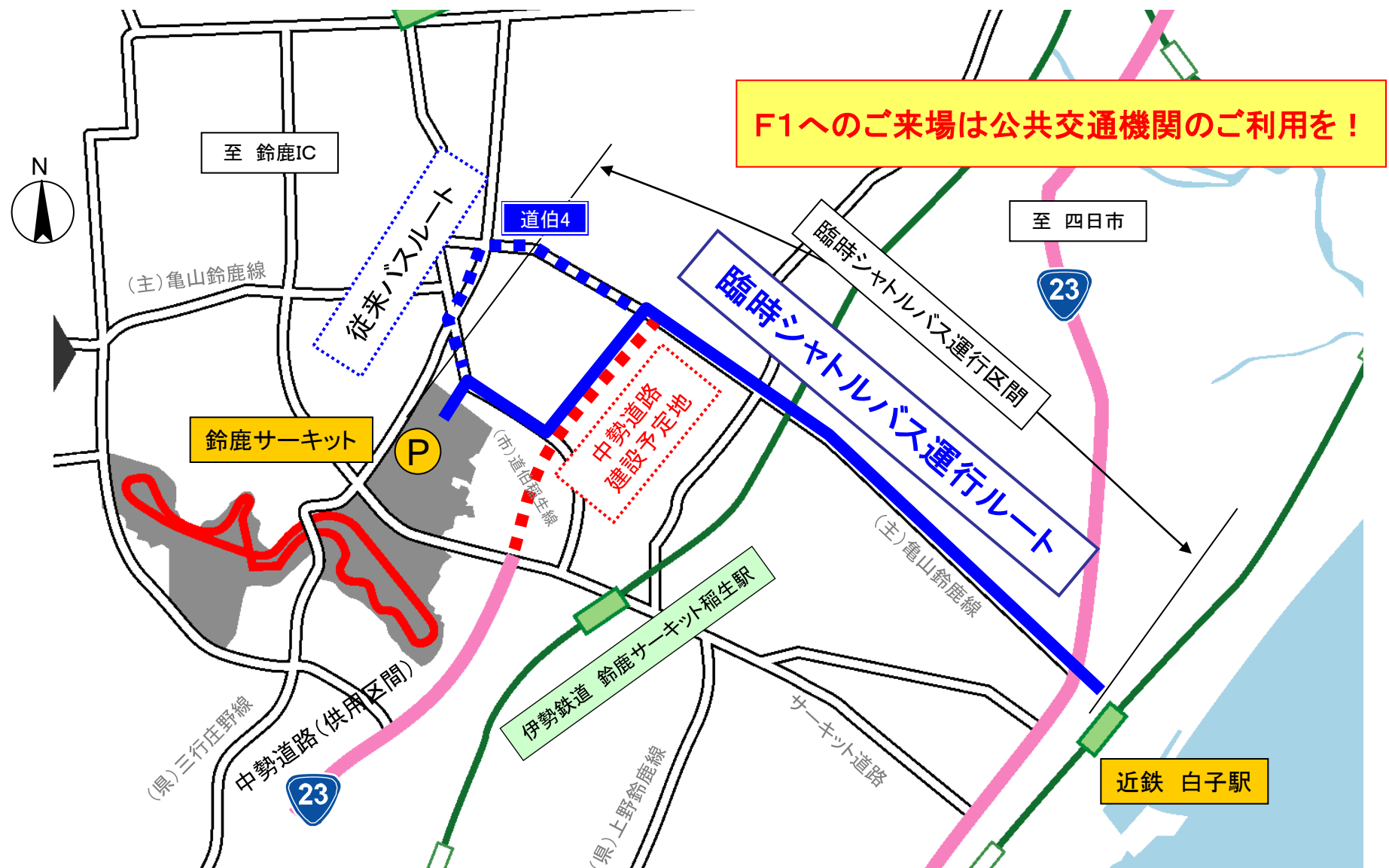


○臨時シャトルバスルート

○中勢道路建設予定地をバス専用レーンとして利用することにより、一般車両との混雑を回避。



○臨時シャトルバス専用レーン拡大図

○中勢道路建設予定地約1kmを活用



○2009年の結果 <シャトルバスレーンの効果>

- ◆所要時間は最短約15分に対し、最大10分程度の遅れで**定時制が確保**
- ◆2006年F1時最大約50分に比べ、今回約25分と**所要時間が半減**
- ◆シャトルバス利用者は所要時間、快適性、待ち時間ともに**約90%が満足傾向**

(バス事業者ヒアリング調査、旅行速度調査、協議会webアンケート調査結果より)

■2006年までの課題

- ・自動車利用の来場者とバスの運行ルートが混在することにより、鈴鹿IC方面への交通集中による混雑が発生し、バスの定時制が確保されなかった。

■2009年の取り組み

- ・中勢道路建設予定地の一部を臨時シャトルバスレーンとして活用することにより、シャトルバス運行ルートのネック箇所となっていた道伯4交差点での激しい渋滞を回避。

■結果

- ・シャトルバス利用者は**約10%増加**
- ・公共交通での来場者は**約3%増加**
- ・レース後、過去の類似イベントと同程度**(約4時間)で市内の渋滞解消**

◇2009F1時シャトルバスの運行状況

